

ウイルス性胃腸炎

【原因】 ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなどの経口（糞口）感染。ノロウイルスはカキなど二枚貝からも感染します。

【感染しやすい時期】 症状がある間と、症状が消失後 2～4 週

【潜伏期間】 ロタウイルスは 1～3 日、ノロウイルスは 12 時間～48 時間

【症状】 嘔吐と下痢（白色下痢便になることがある）、発熱。脱水により、点滴・入院が必要になることがあります。

【合併症】 まれにけいれん、脳症（ロタウイルス）など。

【診断】 症状、流行状況から診断します。ロタ、アデノ、ノロには便を用いた迅速検査がありますが、迅速検査は陰性でも感染の否定はできず、他にも胃腸炎ウイルスがあるので、出欠席の目安にもなりません。ロタウイルスによるものは乳幼児が多く、ノロウイルスは学童、成人、高齢者にもみられ、いずれも再感染します。ロタウイルス、ノロウイルスは冬季から春先に多く発生します。



【治療】 経口補水液など水分補給による脱水の予防、食事療法、制吐剤（吐き気止め）、整腸剤などで治療します。抗菌薬は無効です。高度の脱水では点滴・入院が必要になる事もあります。

【予防】 2011 年からロタウイルスの経口生ワクチンが任意で接種できるようになりました。生後 14 週までに開始し、2 回（ロタリックス®）または 3 回（ロタテック®）接種します。感染者の便や吐物に多量のウイルスが含まれ、微量でも感染します。便や吐物を処理する時は、手袋や使い捨てのシートを敷くなどして触れないようにしましょう。触れた場合は、流水と石鹸で十分に手洗いするとともに、汚染した部分を次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。乾燥した吐物のホコリを吸い込んで感染することもあり、集団発生にも注意が必要です。

【登校（園）の目安】 嘔吐、下痢などの症状が治まり食事がとれれば登園・登校は可能です



ハビネス こども クリニック

お問い合わせは…

087-848-9178



コラム③ 感染性胃腸炎と家庭でできる消毒法について

次亜塩素酸^{しあえんそさんナトリウム}Naによる消毒または85～90℃・90秒以上の加熱が有効です。汚物はペーパータオル等でぬぐい取り、汚れた場所は0.1%次亜塩素酸Naで浸すように拭きます。汚れた衣類はビニール袋に入れ、0.1%次亜塩素酸Naに10分間浸して消毒後、ほかの物とは別に洗濯します。(トイレのドアノブや便座など人が触れる場所は0.02%次亜塩素酸Naで拭き取ります。

ただし次亜塩素酸Naには漂白作用があるので、絨毯^{じゅうたん}など色落ちが心配な場合は、汚物をできるだけ取り除いておき、スチームアイロンで1か所あたり2分間加熱すれば消毒できます。

■ペットボトル(500ml)を使った次亜塩素酸Na消毒液の作り方

市販されている5%家庭用塩素系漂白剤(ハイター®、ブリーチ®など)を、ペットボトルのキャップ2杯(10ml)ボトルに入れ、水を加えて500mlにすると0.1%の消毒液になります。キャップ半分弱(2ml)で作ると0.02%の消毒液になります。

(注) 誤って飲むことがないように消毒液であることをはっきり表示し、こどもが手に取れないようにしておきましょう。

